
空手紙

桜岩 秋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空手紙

【Nコード】

N3753S

【作者名】

桜岩 秋

【あらすじ】

誰でも上を見たら当たり前前にある空を通して、人と人がつながっていく。

そんな世界を、広げたくて。

遠くても気持ちは届く。かもしれない。

出会は空を通じて（前書き）

海を隔てて愛し合った恋人達がいた。
彼らはとても幸せな時間を共有し、突然、別れを告げた。
しかし彼らは、なお愛し合っていた。

出会は空を通じて

海の方こうつて言うと何かへん。同じ国なのにね。不思議だね。
島国だから仕方ないんだけど。

彼女はは遠くにいる彼を思い出して呟いた。
聞く者はいない。

少し冷たくなつた9月の空に消えた声。

夏に消えた記憶をなぞつた声だった。
はじまりのことは覚えていない。

ただブログに載せた写真が気にいって、どちらともなくアドレスを
交換した。

彼らは互いのメールアドレスしか知らなかった。
しかしそれで充分だった。

幸せだった。

確かに好きだった。

でも、今は過去形。背を向けて、歩き出すことを選んだ。

拝啓。

れいくん、お元気ですか？

あなたの道を進めていますか？

わたしは今から、少しあなたとの記憶の中を旅しようと思います。
いいですか？

．．．いいよね、少しくらい。

鍵が錆びて記憶の宝箱開かなくなる前に。

突然の提案

始めのメールはただの自己紹介だった。

ーレイです (^ - ^*)

交換ありがとう！

なんて呼べばいい？

I s a t o m i です。

こちらこそ。

サトでいいです。本名交換しますか？

返事は速い。

ー俺はレイでいいよ。

つか、本名だから！

さとみも本名だろ？

ー本名言った覚えはないですけど・・・

ーいいーからいいーから

よろしくなー！

勝手に締めくくられたっけ。
わたしの名前、みさとですけど。名前入れ替えただけですけど。
まあいいや。信じないし。
そんな始まりだった。
彼はいつも突然だ。

ーコーヒと紅茶ならどっちが好き？
俺は．．紅茶に入れるホットミルク派です。

というメールや、

ーパプリカは黄色の方が美味しい！

などと、

実にどうでもいい個人情報勝手にしゃべる。
それにはへえ、などと返していたけれど、そういった何気ないメールでわかった共通趣味がいくつか見つかった。
1番盛り上がったのは部活の話だ。

彼はサッカー少年だった。そしてわたしはサッカー観戦が大好きだった。

ゲームを見るのは楽しい。ハラハラする。
でも、ルールはよくわからない。

だから、テレビで試合を見ているとき、大概彼も同じ試合を見ていたので（わたしが日本代表戦ばかり観ていたから）、解説を求めてメールしたりした。

彼が審判の資格を取得いたためである。

―今解説が言ってた、ハットトリックって何？

―同じヒトが3得点するコト。ほら、さっきので3回。

―ホントだ。じゃあ、オフサイドは？なんとなくはわかるけど見極められない。

―ソレは慣れの問題じゃね？！（笑）

―そうかも（笑）

そんな何気ない会話だった。

はやくから始めた受験勉強の息抜きに楽しんでいた。

そんな会話の延長線のように、彼は言ったのだ。

―ねえ、俺ら付き合ってみない？

そう。いつものように、それは突然受信された。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3753s/>

空手紙

2012年1月8日23時56分発行